

ボートレースの話題が集まるメディア向け情報誌

PROPEL

プロペル

Vol.32

ボートレースPR情報誌

[小野生奈選手インタビュー]

「迷ったらGO!」

失敗しても前向きに“上書き”。

[ボートレーサーの世界]

・レーサーの日常

・兄弟姉妹・親子レーサー

・レーサーのキャリア

・レーサーのボランティア活動



BOATRACER'S LIFE

最前線で輝くボートレーサー



「迷ったら GO!」 失敗しても前向きに“上書き”。

Interview
SEINA ONO
登録第4530号 (福岡支部)
小野生奈
自称 ボートレースイメージアップキャラクター

1秒を100に区切って考えたことがあるだろうか。瞬きひとつ、その時間が1秒ではなく100/100秒に見えるのがボートレーサーだ。女子トップレーサー・小野生奈もその1人。一瞬の迷いがチャンスを潰すことを、まさに細胞レベルで知っている。だからこそ「迷ったら GO!」。小野生奈は今日も、日本中を元気に飛び回っている。



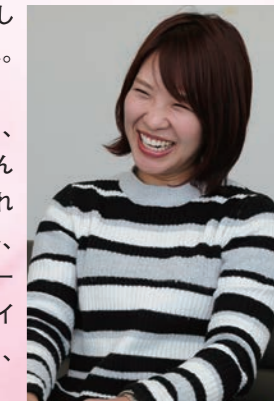
GI第31回レディースチャンピオン優勝戦 先頭を走る小野生手

に怒られていたこともあって、「このままではヤバイ」と焦りました。前を走る先輩方との距離が果てしなく思えて、6着以外を獲れる気がしませんでした。

初めて舟券に絡んだのは2009年7月のボートレース大村[夢の初優勝シリーズ]です。その節は今までと違って、後ろを走っていても、前の人との距離があまりなかった。「レースに参加できているな」と感じました。

初めての1着は2010年5月の芦屋のゴールデンウィーク特選、最終日でした。その節ずっと面倒を見てくれた1号艇の打越晶さん(福岡)(4pA)を相手に、6コースから捲り差して勝ちました。打越さんからは「悔しいけどおめでとう」って言ってもらって…、凄く嬉しかったですね。10月にはボートレース福岡で初めて予選突破して準優勝戦に進出することができました。そのときの着順は覚えていますよ。①⑤③①⑤③①⑥④④です。

デビュー前に叱ってくれた先輩や、初1着のときに喜んでくれた打越さんなど、水の上では敵でも、陸に上げれば親身になってアドバイスをくれるし、一緒に喜んでくれる、それがボートレーサーの良いところ。自分がアドバイスをされる側になった今、その難しさ、ありがたさがよくわかります。



デビューは2008年11月のボートレース芦屋の一般戦でした。デビュー節は⑥⑥⑥⑥⑥⑥⑥⑥と全部6着。デビュー前の練習で「下手すぎやろ!訓練生か!」「そのままではクビになるよ!」って先輩

地元 ボートレース芦屋でGI初優勝。 女王・小野生奈となった一年

2017年の序盤はフライング休みもあって出遅れた感じだったけど、福岡でのSG第44回ボートレースオールスター、丸亀でのSG第22回オーシャンカップの2つのSGで準優勝戦に進出することができました。女子は男子より最低体重が4kg軽いので、モーターのパワー出しで優位に立つことができます。モーターをしっかり仕上げられれば、SGでも自分の力が通用すると感じました。

地元の芦屋でのGI第31回レディースチャンピオンで優勝できたのも嬉しかったです。ただ、年末の大村でのGI第6回クイーンズクライマックスの優勝戦では、スタートで遅れてしまって…。スタート展示でコンマ17のフライングだったので、本番もスタートで迷って

しまいました。同じような状況はこれまでもあったし、自分の調整ミスだと思います。

プロ、ナメていた。 “超”劣等生の奮闘の日々

ボートレーサー養成所(当時:やまと学校)には、2回目の受験で合格しました。訓練生時代は「とりあえず卒業ができれば良いや」って感覚でナメていたと思うし、プロ意識が全然なかったですね。卒業どころか、成績を残せずにクビを覚悟しないといけないう状況になって…。リーグ勝率3.00がクビのボーダーなんですけど、そのレースで5着か6着になるとクビ、という所まで追い込まれました。結果は2着が獲れて無事回避、教官にも初めて褒めてもらえました。修了できたときは、本当にホッとしました。

1 レーサーの成績 最上位のA1はトップレーサーの証!

ボートレーサーになるには、養成所入所試験に合格し、福岡県柳川市にあるボートレーサー養成所で1年間の養成訓練を受けなければなりません。毎年2回、5月と11月に養成訓練を終えた30名近くの新人レーサーたちがデビューします。レーサーのランクはA1・A2・B1・B2の4段階で

す。勝率、1・2着になる確率(2連対率)、1・2・3着になる確率(3連対率)、事故率、出走回数などの審査基準があり、毎年2回更新されます。上位の級になればなるほど1ヵ月の稼働日数が多くなり、さらに高額賞金レースへの出場への道が開けます。最上位の「A1レーサー」は全体の20%、300名程度です。



人から学び、吸収する。 師匠、妹、先輩、ライバル

吉田弘文さん(2017年3月引退)(4p⑧)に弟子入りしたのは、同じ幹旋(あっせん)だったボートレース常滑で、アドバイスをいただいたことがキッカケです。その頃の自分はハンドルを少しづつ入れていたので、握って攻めてもターンの弧が大きくなりがちでした。

吉田さんは「少しづつではなく、思い切りハンドルを入れなさい」「ボートの特徴や、乗り方のコツをつかみなさい」と教えてくださいました。言われたとおりに思い切りハンドルを入れたら、それまでの徐々に艇の向きが変わるターンとは違って、ガンと一気に向きが変わったんです。めっちゃ怖かったですけど(笑)。そこから、自分のレーススタイルも変わりましたね。

師弟になってからも、勝率が下がって落ち込んでいけば「存在感がないぞ」って発破をかけに来てくれたし、SGやGIの出場が決まったときには喜んでくれました。吉田さんに出会えたことで、今の自分があると思っています。

同じボートレーサーの妹・真歩(4p⑨)の存在も励みになっています。うちは三姉妹で私が一番上で、真歩が一番下です。真歩は私が習い事を始めると付いてきたし、部活も同じソフトボール部だったから、それなら「私がボートレーサーになったら、真歩もなるよね」って(笑)。真ん中の妹も養成所の試験を受けていますし、真歩も前からレーサーになりたかったんだと思います。真歩がレーサーになったときは、めちゃくちゃモチベーションが上がりました。真歩には、自分がやってきたことを教えているので、言うだけはいけないと思って頑張っています。



同じ福岡支部の瓜生正義さん(4p⑩)と篠崎仁志さん(4p⑪)は、憧れの存在です。トップレーサーの瓜生さんは、一般戦を走ることは滅多にありません。たまたま一般戦で一緒になった時にアドバイスを求めたら「俺、わからんっちゃね」と言われて…。でも、その後にわざわざ来てアドバイスをくださいました。モーターやプロペラを大事に扱うことを教えてくれたのも、瓜生さんです。



第31回GIレディースチャンピオンで優勝した小野選手

仁志さんには食事に連れて行ってもらうなど、プライベートでもお世話になっています。仁志さんの凄い所は、成績が良い時も悪い時も、一般戦だろうと最高峰のSGレースだろうとどんな時も態度が変わらないことです。年末の頂上決戦・SGグランプリの時は、話しかけてはいけなくて遠慮していたんですが、仁志さんはいつもと同じように接してくれましたので、どんな時も普段と同じ態度でいられる仁志さんは、本当に凄いと思います。

同じ女子レーサーでも、自分と考え方が違うのでいろいろと吸収できるし、話を聞いて面白いですし、後輩たちにもターンの巧い後輩がいるので、勉強になります。

趣味、イロイロ。 旅行、音楽、ダイエットも好き

趣味は旅行です。旅行先でめっちゃ楽しんで、めっちゃ疲れて帰ってきます(笑)。マイナス11℃のめっちゃ寒い北海道に行ってきました。水族館に行ったり、海鮮も凄く美味しくて、楽しかったです。

旅行も好きだけど、1人の時間も好きです。全国を飛び回る職業なので、やっぱり地元に戻ってくると安心しますし、飛行機から福岡市内を見下ろすとホッとします。なるべく福岡からは離れたくないですね。

音楽も好きです。DVDを観て、テンションが上がるものが良いですね。今は「ONE OK ROCK」と「TWICE」が大好き。「TWICE」はみんな可愛いんですよ。スタイルも良くて、ダンスも良い。同じ人間とは思えないくらい(笑)。昔は「ももいろクローバーZ」が好きで、妹や後輩たちと「おのいろクローバーZ」を作って踊っていました。オファーがあれば踊りますよ(笑)。

ダイエットも好きですね。食べるのが大好きなので、体重はすぐ増えちゃいます。特にお酒が入るとブレーキが利かなくなってしまって、周りから引かれるくらいです。それでも、レースまでに最低体重の47kgまで落とすようにしています。

減量方法はサウナや酵素風呂、マッサージが多いですね。むくみが取れていくのがわかるし、サウナも「体重が落ちた」という感覚があります。慣れない頃は苦しかったけど、100g減ったときの楽しさに味を占めました(笑)。何事も数字に表れることが好きなので。

体力維持のほうは、1年くらい前から本格的にジムに通ってトレーニングをしています。今はボートを安定させられるように、下半身と体幹を重点的に鍛えています。先輩レーサーから体幹のことを教わったのですが、このトレーニングがレディースチャンピオン優勝という結果に繋がったと思って、これからも頑張りたいと思います。単純です(笑)。

迷ったら GO! 間違いでも、後悔はしたくない

性格ですか? ポジティブですね。落ち込んでも「自分で何とかしなきゃ」って無理矢理引き上げちゃいます(笑)。

レースをしていて、ストレスを感じることはありますよ。大事なところで転覆したり、圧倒的有利な1号艇で1着を取れなかった時、暗い気持ちになることもあります。

そんな時は「レースはダメだったけど、スタートはしっかり行けた」とか、「ここを直せば次は勝てる」など、良かったところや、ダメだった原因を見つけて、ポジティブな内容に上書きしてしまうんです。だから、立ち直りは早いと思います。

大事なのは気持ちです。昔から「迷ったらGO!」が自分のスタイル。間違えることもあるけど、後悔するレースはしたくない。「握るレースをしてくれたら失敗してもいい」と言ってくれるファンの方もいるので、心強いです。本当は失敗したらダメなんですけど(苦笑)。

あと最近になって、自分が負けず嫌いだと気づきました。後輩や妹と話していて「もっと勝ちにこだわればいいのに」って思ったことが何回かあって。きっと幼少期に父から鍛えられたお陰ですね。運動会でも「絶対に負けるな!」って言われていましたから(笑)。

個人から業界全体へ。 視点が変われば、行動も変わる

1年くらい前から、「女子レーサーの代表なんだよ」って言われる機会が増えました。自分では全く意識していなかったけど、そう言っ

てもらえるなら、女子の代表として行動しよう。やっぱり単純ですね(笑)。今はボートレーサーの1人として、多くの方にボートレースを知って欲しいと思って行動しています。

最近トークショーなどのイベントでも「自分は女子の代表なんだ」と思って出ています。レースそのものならともかく、自分の態度が悪かったことでボートレースから離れてしまう人がいたら嫌ですから。常に注目されることを意識・自覚することでレース内容も良くなると思うし、振る舞い方も変わるとも思います。

「ボートレース=ギャングブル」のイメージも変えたいですね。実際にレースを見て、レーサーを見て、ボートレースを知って欲しい。たまにオートレースや競輪を見ますが、レーサーたちの必死さが伝わってきます。同じレーサーとして、自分もあの必死さを伝えられたらと思います。「ボートレーサー・小野生奈」が実際のレースやCM、マンガなど、ボートレースを知るキッカケの1つになれば嬉しいです。

女子レーサーとしては、GIレディースオールスター、GIレディースチャンピオン、GIクイーンズクライマックスの女子限定タイトルは意識します。特にレディースオールスターは2017年に新設されたばかりのタイトルで、ファン投票によって選出されるレースなので、出場するレーサーたちと盛り上げていきたいですね。

陸の上では丁寧対応、水の上では全力疾走のボートレーサー・小野生奈を、ぜひ「ボートレースイメージアップキャラクター」として使ってください(笑)。

本文中のボートレーサーの紹介



登録第3379号
打越 晶 選手 (福岡支部)
つねに笑顔で接してくれる優しさがあるが、時には厳しい口調で指導することも。ただ、小野生奈は「自分を思ってくれていることが分かる」と話し、後輩レーサーから頼りにされている。



吉田 弘文 さん(元ボートレーサー)
師匠として小野生奈を女子のトップレベルに育て上げ、代名詞のスピードターンは師匠譲り。吉田自身もSG、GIの舞台で活躍していたが、レース中の事故の影響で惜しまれながら引退。



登録第4770号
小野 真歩 選手 (福岡支部)
姉の背中を追ってボートレースの世界に飛び込んだ。女子の中では体重がありレーサーとしては苦戦している。ただ、姉と同様に笑顔を忘れない愛くるしいキャラクターでファンも多い。



登録第3783号
瓜生 正義 選手 (福岡支部)
2016年にボートレース最高峰のSGグランプリで優勝し1億円を手にした。実力もさることながら、人気もトップクラスで、ファン、関係者に対して神対応。周りからは「鬼神」と呼ばれる。



登録第4477号
篠崎 仁志 選手 (福岡支部)
兄の元志と兄弟レーサーで、イケメンレーサーとしても有名。人懐っこい性格で先輩、後輩に関係なく人望がある。2年連続でSGグランプリ出場と実力も確かで将来のボート界を背負う存在。

2 レースのグレード

SGレースは賞金も高いが、出場難易度も高い

ボートレースの競走には、SG・GI・GII・GIII一般競走の5段階の格付けがあります。SG(スペシャル・グレード)は優勝賞金1億円のグランプリをはじめ、9つのタイトルがあり、厳しい選出基準をクリアしたボートレーサーのみが出場できます。

GIIは原則A1レーサーだけが出場できます。一般競走にも若手レーサーの登竜門のルーキーシリーズや女子レーサー

だけで開催されるヴィーナスシリーズなどのレースがあります。

それぞれのグレードで初勝利や初優勝を挙げると「水神祭」が行われます。初勝利や初優勝のレーサーを担いで水の中に放り込む、ボートレース界の伝統的な祝福方法です。気候や天候に関わらず、真冬や雨・雪が降っていても行います。



3 レーサーの支部とは

ボートレース場は24か所

ボートレース場は全国に24か所あります。それぞれのボートレーサーは、レース場の所在する県ごとの「支部」に所属しています。九州には福岡支部、佐賀支部、長崎支部の3支部があり、福岡支部は福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県、宮崎県出身のレーサーが多く所属しています。その各支部の中でも、グループが複

数あり、支部やグループ内の先輩が後輩の指導を行います。

レーサー達が自分でプロペラを用意していた頃は「プロペラグループ」というものもありましたが、今では、同じ支部の先輩からレースのアドバイスをもらう学びの場でもあります。



ボートレーサーの世界

レーサーの日常

外部と遮断される宿舍生活には 食事、部屋など、さまざまな配慮が!

開催期間中にボートレーサーが行動できる範囲は、ボートレース場と宿舍の2カ所です。不正防止のために外部との接触を遮断され、携帯電話などの通信機器も一切持ち込むことができません。

レース場にいる以外は、宿舍で過ごします。部屋は2~3人で1部屋や個室など、レース場によって違います。部屋割りは同支部が基本です。最近はレーサー達がリラックスできるようにと半個室の宿舍が増えてきました。各部屋にテレビが置いてあり、クーラーなども完備されています。

福岡支部の水摩敦選手は「宿舍では、基本的にはDVDを観ることが多いです。本を読んだりもするし、同じ部屋の人とおしゃべりしたりしています。漫画本を置いてあるところもあるのでゆっくり過ごしています」とのこと。同じく福岡の里岡右貴選手は

「レース場によってはストレッチ器具があるので、軽いストレッチをしています。食事もお膳やバイキング形式など、いろいろなパターンがあります。ただ、僕らは体重管理などであまり食べられないので、豪華すぎると葛藤もあります。贅沢な悩みですけど(笑)。最近は個室が多くなってきて、自分の時間を過ごせるので快適です」と話してくれました。

通信機器の
持ち込みはNG!



兄弟姉妹・親子レーサー

兄弟、姉妹、親子、夫婦… 意外と狭い「ボートレーサーの世界」

ボートレースが誕生したのは、1952年(昭和27年)4月。それから今までの間、数多くのボートレーサーが活躍してきました。父親の活躍する姿を見て、レーサーを志した人もいます。

父・子でのレーサーは意外と多いのですが、母・子でレーサーは初めてのケースで、大山博美選手(福岡)&千広選手(福岡)の母子レーサーが注目を集めました。2015年5月のボートレー



大山博美選手(福岡) 大山千広選手(福岡)



中村晃朋選手(香川) 中村桃佳選手(香川)

ス若松での母子対決では、娘の大山千広選手が、初めて母の大山博美選手を破りました。

兄弟姉妹でボートレーサーというパターンも少なくありません。篠崎元志選手と仁志選手の兄弟は2016年のグランプリに兄弟で出場しました。兄妹では香川の中村晃朋&桃佳選手、姉弟は福岡の竹井奈美&貴史選手、兄弟は東京の後藤翔之・隼之・美翼選手など、大勢います。三重の松尾充・拓選手は双子で、弟の拓選手の奥さんは山下友貴選手(三重)で夫婦でボートレーサーです。

兄弟・姉妹・親子・夫婦で活躍しているレーサーのレーススタイル等に注目してみるのも、また一味違ったボートレースの楽しみ方のひとつです。



BOAT RACER'S WORLD

レーサーのキャリア

最も稼いでいるのは…松井繁選手の36億!

ボートレーサーは約1600人、そのうち女子は200人程度です。過去、最年長レーサーとして加藤峻二さんが73歳まで現役レーサーとして活躍されました。10代のレーサーもいるので、半世紀近く離れた歳のレーサー同士の対決もあります。

ボートレーサーは養成時期によって期別が決まり、デビューするときに登録番号が与えられます。ボートレーサー第1号は登録第11号の鍋島弘(滋賀)さんで、121期生になり登録番号は5000番を超えました。ボートレース業界では、競技開始当初から男女の区別なくレーサー募集を行っており、女子レーサーの第1号は登録第78号の則次千恵子(岡山)さんです。

ボートレーサーには3年に1回の登録更新検査があり、視力、聴力、体力測定などを行います。

生涯獲得賞金第1位は「王者」と呼ばれる松井繁選手(大阪)の36億円、女子レーサーの第1位は「グレートマザー」こと日高逸子選手(福岡)の9億5千万円です。獲得賞金は、厳しい



松井繁選手(大阪) 日高逸子選手(福岡)

世界を生き抜き、トップに君臨してきた証です。

日高選手は自身が働き、ご主人が家庭を守るという生活スタイルで、テレビに取り上げられたこともあります。

レーサーのボランティア活動

レーサーによる さまざまな社会貢献&福祉活動

長嶋万記選手(静岡)は、2009年から「マキプロジェクト」と題して、ボランティア活動を行っています。このプロジェクトにはボートレーサーも数多く参加しており、これまで東日本大震災、熊本地震の支援などを行ってきました。2015年にはマキプロジェクト改め「一般社団法人ZERO」を立ち上げ、ボランティア活動を続けています。長嶋選手のこうした活動が認められ、2017年の年間優秀選手特別賞を受賞しました。

ボートレーサーが所属する日本モーターボート選手会でも団体として社会貢献に取り組んでいます。東日本大震災の復興支援活動として、レーサー達がレースの合間に石巻市へ行き、出荷前の牡蠣の掃除やムール貝の選別などを定期的に行っています。2017年には17回の支援活動を行いました。

支部ごとの活動も多く、クリスマスや正月に施設を慰問してプレゼントや餅つき大会を行ったり、夏休みに地元の小学生を招待するゴムボート大会も有名です。2015年のSGボートレー



2017年7月九州北部豪雨による被災地区での支援活動(日本モーターボート選手会)

スダービー覇者・守田俊介選手(滋賀)は「東日本大震災の支援に使ってほしい」と優勝賞金3500万円を全額寄付しました。



小野 生奈 プロフィール

1988年10月2日生まれ。福岡県出身で東海大付属第五高(当時)を卒業後、2回目の受験でボートレーサー養成所(当時:やまと学校)の103期生として入所。2008年11月のボートレース芦屋でプロデビュー。2017年8月にボートレース芦屋で行われたレディースチャンピオンでGI初優勝。女子レーサー初のSG優勝に期待が懸かる。

養成所時代のリーグ戦(訓練生同士の模擬レース)で結果を出せずクビになりそうになった時期があった。それ

でもがむしゃらに練習し、下から2番目の成績で無事に修了。初めて1着を獲得したのはデビューしてから2年後の2010年5月のボートレース芦屋で6

コースからの捲り差し。デビューから179走目で嬉しい水神祭を飾った。その5か月後の10月福岡のGⅢ女子リーグ戦で初めて準優勝戦に進出。それから約1年後の2011年11月の住之江一般戦で優勝戦進出を果たし、2013年12月の蒲郡一般戦で3コースから捲りを決めて初優勝を飾った。デビュー10期目に最高クラスのA1に昇格し、12期目からは7期連続でA1をキープ。2017年にはボートレース界最高峰のレース「SG」9つのうち、ボートレースオールスター、オーシャンカップ、チャレンジカップ、グランプリシリーズに出場し、オールスターでは女子レーサー初の3連勝をマークし準優勝戦に進出。オーシャンカップでも準優勝戦に進出した。努力を惜しまなければトップシーンで活躍できることを体現している。



BOAT RACE 福岡

ボートレース福岡は福岡市の中心商街・天神から徒歩で約15分。交通のアクセスも良く、博多駅からタクシーで10分ほど。施設内はレストランや売店はもちろん、週末にはトークショーやイベントステージがあり、女性や子供も気軽に遊べる。また、広々とした芝生広場でのおんびり寝転びながらの観戦もおススメです。

ボートレース福岡 検索



[ボートレース福岡: 〒810-0071 福岡県福岡市中央区那の津 1-7-5]

■西鉄電車ご利用の場合 西鉄福岡(天神)駅下車⇒北へ徒歩約15分。

■JR 博多駅よりお越しの場合

JR 博多駅前バス乗り場A乗車⇒那の津口(ボートレース福岡入口)下車(約17分)⇒徒歩約3分。

JR 博多駅前バス乗り場F乗車⇒市民会館前下車(約20分)⇒徒歩約3分。

■地下鉄博多駅よりお越しの場合

地下鉄博多駅乗車⇒地下鉄天神駅下車(約5分)⇒地下街出口(東1a)から北へ徒歩約10分。

■福岡空港よりお越しの場合

地下鉄福岡空港駅乗車⇒地下鉄天神駅下車(約11分)⇒地下街出口(東1a)から北へ徒歩約10分。



日本財団の紹介



日本財団に関する情報はこちらから ▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>
日本財団会長 笹川陽平ブログ ▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。
年の三分の一を海外活動に充て、
海外情報や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。

日本財団会長の
笹川陽平ブログ



取材の申し込み・お問い合わせはこちらまで



広報部 広報宣伝課

〒108-0073

東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館

TEL 03-3451-0501

FAX 03-3451-0429

BOAT RACE 振興会ウェブサイト
▶ <http://www.boatrace-pr.jp/>
BOAT RACE オフィシャルweb
▶ <http://www.boatrace.jp/>



「ISO/IEC27001:2005」を
認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、
全部門を対象とした情報セキュリティマネジメント
システム(ISMS)の国際認証基準
「ISO/IEC27001:2005」を認証取得しました。

BOAT RACE
振興会ウェブサイト



編 | 集 | 後 | 記 |

今回の『PROpel』は、何事にも笑顔で前向きに立ち向かう女子レーサー、小野生奈選手の特集でした。男性と同じフィールドで戦う女子レーサーはとても強くて美しく、同じ女性として本当に憧れます。私がかつて学生時代にスポーツをやっていたときは、恐怖心やプレッシャーに打ち勝てずチームの足を引っ張ってばかりでした。自分との戦いにめっぽう弱い私... 今でも食欲という最大の敵には勝てません(泣)



広報部 広報宣伝課 松岡彩映